

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	体育
科目基礎情報						
科目番号	0006		科目区分		一般 / 選択	
授業形態	実技		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	建築学分野		対象学年		4	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材						
担当教員	三島 利紀,館岡 正樹,恐神 邦秀					
到達目標						
集団の一員としての役割と責任を自覚し、積極的かつ安全に各種目に参加することができる。運動能力を高めると共に協調性・社会性を身につけ、現在および生涯にわたって楽しく運動することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	標準的な到達レベルの 目安に加えて、 それぞれの実技試験（40点満点）において、 1/2以上の点数を取る		授業へ遅刻、欠席、見 学することなく安全に 注意し集中して熱心に 授業に取り組む		遅刻、欠席、見学が比 較的多く、 授業に集中 しない又は熱心に取り 組まない。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 E 学習・教育到達度目標 F JABEE e JABEE f						
教育方法等						
概要	各種の運動はその種目によりそれぞれ異なった特性を持っている。こうした特性の違う種目に応じた技術・技能の練習・修得の過程でルール・マナー・安全 に対する態度・知識を会得すると共に、体力を高め運動を楽しむ態度を養う。また、協調性・社会性を身につける事を期待する。					
授業の進め方・方法	講義は全て実技である。実技の実習場所は体育館・武道館、屋外（野球場・サッカー場・アイスホッケー場）で行う。出欠・見学・授業態度（60%）、実技試験（40%）で 評価する。60%のうち欠席・見学は減点（5～3点）する。また、次に 該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルー ルを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）も程度によって減点とする。					
注意点	実技にふさわしい服装（運動着・運動靴）で参加すること。健康管理に注意し、安全かつ積極的に参加すること。					
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標
		1週	ガイダンス			・ 1年間の授業の流れと注意事項。
		2週	バレーボール			・ 狙った場所にサーブを打つことができる。 ・ スパイクが打つことができる。 ・ チーム同士で協力して安全に配慮したゲームの運営 ・ 進行をすることができる
			バレーボール			
			バレーボール			
			バレーボール			
			バレーボール			
		7週	バレーボール 実技試験			
	8週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			・ キャッチボール及び各塁への送球およびバッティングができる。 ・ チーム同士で協力して安全に配慮したゲームの運営 ・ 進行をすることができる。 ・ リフティング、ドリブル、トラッピング、フェイントを正確に行うことができる。 ・ インサイド、インステップ、インフロント、アウトサイド、トゥー、ヘディングを使って、正確にパス・シュートすることができる。 ・ チーム同士で協力して安全に配慮したゲームの運営 ・ 進行をすることができる。	
	2ndQ	9週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			<テニス> ・ グラウンドストロークやボレー・各種サーブを打つことができる。 ・ お互いに安全に配慮しながらゲームができる。
		10週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			
		11週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			
		12週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			
		13週	野 球・サッカー、テニス・ソフトテニス 実技試験 雨天（バレー・バドミントン、フットサル）			
		14週	スポーツテスト屋内			・ 自己の体力水準を把握する
		15週	スポーツテスト屋外			・ 自己の体力水準を把握する
16週						

後期	3rdQ	1週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	<バドミントン> ・各種フライトを打ち分けることができる。 ・ホームポジションを意識しながら、シングルスおよびダブルスのゲームができる。 <フットサル> ・ボールコントロール（ドリブル・トラップ・シュート）ができる。 ・チーム同士で協力して安全に配慮したゲームの運営・進行をすることができる。
		2週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	<バスケットボール> ・ドリブル、各種パス、各種シュートができる。 ・オフェンス、ディフェンスの方法を理解し、試合に生かすことができる。 ・それらを組み合わせながら試合ができる。 <卓球> ・カット・ドライブができ、様々なサーブがうてる。 ・それらを組み合わせ、シングルスおよびダブルスの試合ができる。
		3週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		4週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		5週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		6週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		7週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		8週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
	4thQ	9週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		10週	バドミントン・卓球, バスケ・フットサル等	
		11週	アイスホッケー	・簡単なフォーメーションができる。 ・ポジションの特質を生かしたゲーム展開ができる。
		12週	アイスホッケー	
		13週	アイスホッケー	
		14週	アイスホッケー	
		15週	アイスホッケー	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	40	0	60	100
基礎的能力	0	0	0	40	0	60	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0